

トキ  
リリキキ

HSK 生活の家 だより 記 吉田晶子氏

昭和 48 年 1 月 13 日 第 3 種 郵便物 認可

HSK 通巻番号 551 号

発行：2018 年 2 月 10 日 発行（毎月 10 日 発行）

編集人：NPO 法人ニセコ生活の家 通巻 379 号

〒048-1531：虻田郡ニセコ町字有島 47-47

FAX/TEL: 0136-44-1730

発行人：北海道障害者団体刊行物協会

定価：100 円



### 今月の表紙

#### ちっちゃくない!?

大雪から一転青空いっぱいこの日、  
ニセコ町有島記念館までお散歩です。  
冬の運動不足解消でちょっとそこまで  
歩くついでに、そり持参。  
帰り際にそりに乗ってみた友輝さん、  
ああ～はみ出てる・・・  
さて、無事に生活の家へ戻れるか。

2018 年（平成 30 年）

1 月・2 月合併号

No. 223

### 目次

1. 表紙
2. 年始の挨拶
- 3、4. トピックス  
(12 月・1 月分)
5. 仲間たちの声
6. ご協力を!
7. 追悼
8. 今後の予定

\*本人承諾のもと掲載しています。



## 2018年、21年目の生活の家

2018年、二セコ生活の家は二セコに移転して、21年目を迎えます。1983年に札幌で小規模作業所を開設してからを数えると、生活の家は35年目も迎えることになるわけです。利用する若者達も、その生活を日々支える保護者の方も、関わる人たちも、気づくとそれ相応の年令となり、この時を重ねる中でご家族に変化があった方もいらっしゃいます。

若者達という表現は、昔ずいぶん時間をかけて話しあった言葉でした。利用者や通所者と言う言い方は、生活の家の運営の原則からそぐわないというのが理由だったと記憶しています。

二セコ町地域活動支援センターとしては、二セコ町をはじめとして、地域の多くの方々の支援のもと、新たな仲間も迎えて地道に地域の中で活動を続けています。地域の方々の温かいご支援に、厚く感謝申し上げます。

さて、2018年1月の新聞に目を向けると、新出生時診断の実施施設が拡大される方針が日本産婦人科学会で固められたとありました。「しょうがい」を持つ方々にとって、より一層、苛烈な現実が生まれることになるのではと危惧します。「しょうがい」を持つ人達が、地域の中で生きにくくなるのではないのでしょうか。

そんな社会状況の中で、生活の家は、今、先のしっかりした計画を見通すことが簡単ではない状況であります。住み慣れた地域の中で、誰もが安心して家族や仲間とともに生活を続けていくために、これからもみんなで知恵をしぼっていきたいと思います。

NPO 法人 二セコ生活の家理事長  
長谷川奈穂子

\*2018年1月はお便りを発行致しませんので、2月号でご挨拶を書かせていただきました。

### 日誌から

1月4日(木) 故落とし最初の顔合わせです。若者の休みが多いため、この日は4名です。淋しい顔合わせです。(N)

穏やかな天気でした。

1月5日(金) どんよりした空模様です。細かい雪が静かに降っています。今日は朋和さん(伊藤朋和さん)「おめでとう!!」の声が飛び交っています。若者が一人でも多く集う生活の家であってほしいです。(K)

## 12月・1月のトピックス



### ニセコ中学校音楽部のみなさ 音楽のプレゼント

12月20日ニセコ中学校  
音楽部の皆さんが  
来訪されました。  
午後4時からのひとときを  
楽しんでいます。



← ウェルカム看板を用意してお出迎え。

### クリスマス会



23日、生活の家プレイルームでクリスマス会  
が催されました。2017年の生活の家  
DVD鑑賞からビンゴゲーム、プレゼントなど  
定番の企画に至るまで、  
多いに盛り上がりました。

\*トナカイの役を降板してまでプレゼントを・・・笑

← クリスマス会後に忘年会です。  
オードブルに舌鼓

-3-





## 新年書初め

2018年1月4日(木)

年初めに仲間たちが集合してゆっくりと過ごしています。

午後から、みんなで書初め。

毎年恒例になった友輝さんの大作は半紙を購入しておらず、残っていた2枚だけ。

それでもスタッフと協力して素敵な作品が書きあがりました。



ニセコ町学習交流センター

あそぶっ 趣味の展示「ニセコ生活の家」展に出展しました。(1月17日～1月31日)

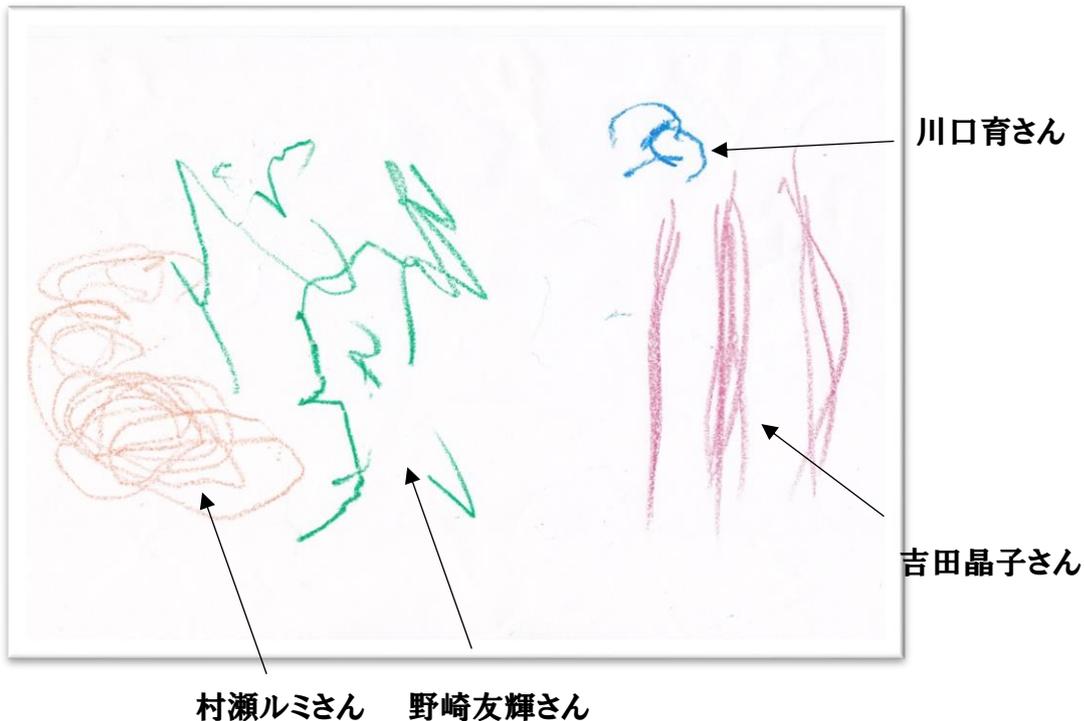


## 1月27日(土)生活の家餅つき会

毎年恒例の餅つき会です。長年使用していた臼が使用できなくなり、ニセコ町幼児センター様より臼と台をお借りしました。

おかげさまで、参加者全員で楽しく杵つきができました。あいどり、サポートで来訪された皆様ありがとうございます。

みんなのコメント「餅つき会は最高でしたか？」



**\*合田暁さん**

1 月もちつき会

おもちをあんこうをのせます。なっとうもちをえのきもちを食べました。  
たくあんを食べました。お茶を飲みました。

**\*伊藤朋和さん**

もちつきありがとうございました。おもしろかったです。おもちをえのきをたべました。  
さいこうです。

**\*北村幸輝さん**

生活の家の新年最初のこうれいイベント餅つきを開催しました。  
僕はおもちが好きなのでたくさんたべました。特にあんこが美味しかったです。

**\*二階堂拓さんから。**

今日はおもちつけもの美味しかったです。仕事は休まないで楽しく行ってます。  
明日早いですが、また、3 月 4 月やゴールデンウィークに来ます。  
楽しみです。もちつきさいこう！

(二階堂拓さんは札幌市からお越しになりました。およそ、半年ぶりの参加です。)

## **ご協力を！**

生活の家の大型テレビが壊れてしまいました。(泣)  
およそ20年にわたり若者たちの娯楽であった、大型テレビがある日突然・・

「あれえ～!？」戸惑う若者たち、一向に“受診できません・・・”  
テレビ画面からの非情なメッセージ。(電源はONになるのですが)

そのうちテレビが見られないことを理解できるのでしょう。  
でも、今は受け入れられない。

知っている、歌やCM、映画、スポーツ、  
聞いたことがある歌で踊ったり、ジャンプしたり、  
彼らが反応する瞬間をテレビ番組は与えてくれることがあります。  
お昼に欠かさず見る番組もおやつ後に見る某局のアレも・・

テレビを見ていることが習慣になっている人にとっては  
好きな番組を見られない状況が続けば  
きっと、落ち着かないでしょう。  
こんな状況でいたたまれず、  
現在は生活の家の親から小型の液晶テレビをお借りして見えています。

しかしながら、  
このまま、お借りし続けるわけにはいきません。

そこではお願いします。  
若者たちの充実した余暇を過ごすためにも、どなたかテレビを1台  
ご協力いただけないでしょうか。

「使っていないテレビがあるよ!」「もういらないから譲るよ!」  
という連絡があれば、引き取りに伺います。  
よろしく願いいたします。

(伺える範囲は羊蹄山麓周辺及び、札幌市辺りまでです。)  
TEL/FAX 0136-44-1730

千葉俊昭さんのご冥福を心からお祈り致します

1月17日日、突然の訃報でした。千葉俊昭さん（千葉冬子さんのお父様です）は、札幌からニセコへの移転計画の際、新たな試みのコーポラティブ方式の建設組合の代表として、本当に多くのご尽力をしていただきました。また、有島の丘管理組合の名付け親でもあり、初代管理組合長でもありました。

千葉さんは、札幌共にともに育つ教育をすすめる会当時からの長い関わりがあります。その会報では、『娘の交差点』という「しょうがい」をもつ子どもたちが、すぐ近くの校区の学校に通学できない不条理さを温かさの中に鋭い批判を込めて綴っていただきました。

ニセコに移転してからは、有島地域の町内会の活動に他のお父さん方と関わってくださり、ニセコに移転して間もない生活の家と有島地区のつながりを創っていただきました。生活の家だよりの中でも、地域を見守る温かい視点と自然に対する深い造詣で、ニセコ町の自然・風土を、『ニセコぶらぶら記』という形で連載してくださり、当時の逢坂町長をはじめとして多くの読者の方の好評を得ていました。

たくさんの思いがあり、ここにすべてを表現できませんが、今までのご尽力に感謝申しあげるとともに、心からのご冥福をお祈り致します。

(記 長谷川)

ニセコ街なか・ぶらぶら記

千葉 俊昭

移り住んで3か月が過ぎた。少しは街の風景にも慣れ、自分の生活リズムも掴めてきた。

なにしろ今までは雪の中、まわりは山と森と銀色一色の単調な世界だから。

3月の春風に誘われ、わずかに面を覗かせた南斜面の崖の黄土色が懐かしい。

かた雪の上を狐や野兎の足跡を追うように、崖の上を歩いてみる。

たどり着いてみると、遠くに見た、わずかな崖土の広がりではなく、もうそこには

確かな春の息吹と姿があった。

崖下にはキラキラと清冽な波光を躍らせて、一筋の流れが細々ながらも、

大地の血脈の役割を果たし始めている。流れの岸の雪庇からはつぎつぎと水晶のしずくが滴り落ち、そのひとしずくひとしずくに陽光が反射し、私の瞳孔を洗ってくれる。

流れに沿ってふと視線をずらすと、雪庇に隠れるように若草色の影が映る。フキトウだ。

紫色のがくに包まれ、わずかに頭をもたげているばかりの可憐な姿だが、春を待ち兼ねる生命の鼓動が伝わってくる。ひとつ、三つ、五つ…手に取れば、胸腔いっぱい

希望のかおりが広がっていった。(1998年4月7日 生活の家だより第5号より編集)

## 1月 運営会議より

### <1月の予定>

- ・1月3日まで 年始休業
- ・4日(木曜日) 御用始め
- ・9日、15日、22日、29日 調理
- ・12日(金) 支援者会議(小野)
- ・19日(金) 指導監査文書提出(後志支庁)
- ・25日(木) 運営会議 17時～
- ・27日(土) お餅つき 13時～
- ・29日(月) 13時出勤 ニセコ町自立支援協議会(小野 15時～)

17日(水) 千葉俊昭さんがご逝去されました。  
心よりご冥福をお祈り致します。

### <戴きました> ありがとうございました。

- ・田中さん(ニセコ有島) ・金子さん(ニセコ有島)・斎藤さん(ニセコ)
- ・丸和さん(ニセコ) ・石山さん(ニセコ) ・菓子労連さん(札幌)
- ・八柳さん(札幌) ・さっけんさん(札幌) ・伊藤さん(大分県)
- ・仲さん(札幌) ・埴さん(小樽) ・QIRA(キラ)さん(ニセコ)

### <2月の予定>

- ・5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月) 調理
- ・8日(木) 原子力防災訓練(屋内退避訓練)・・・通信訓練
- ・9日(金) 支援者会議(小野)、お便り封筒入れ・発送
- ・13日(火) 検診(小野)
- ・13日(月) お便り配達
- ・23日(金) 就労支援セミナー(倶知安 13時～小野)  
運営会議 17時～

(記:長訓)

HSK 生活の家だより

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可

発行:2018年2月10日発行(毎月10日発行) HSK 通巻番号551号

編集人:〒048-1531 虻田郡ニセコ町字有島47-47 通巻379号(223号)

NPO法人ニセコ生活の家 Tel・Fax0136-44-1730

メールアドレス takke4747@gmail.com

### 編集後記

最近ニセコセリアの不動産ガイドブックを拝見した。¥119,000,000・・・¥270,000,000・・・

桁大きすぎて分からなくなるような物件たち。ひらふだけでなく、ニセコ町アンヌプリ地区にも。

これだもの。土地の値段が上がり続けるわけである。今のニセコの象徴の一つ。(記O・T)